

# 食育月間の取組

## (6月の実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	全域
取組の名称	「地場産100%和食給食」の実施
実施時期	6月1日～30日(実施日は学校により異なる)
取組内容	<p>福井県では、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、子ども達に和食文化や福井の食材の良さを見直してもらうため、学校における和食給食の普及を勧めております。</p> <p>そこで、食育月間である6月を「地場産100%和食給食」の実施期間と定め、県内のすべての公立小中学校において、地場産食材(加工品を含む)を100%使用し、且つ、ご飯、主菜、副菜をそろえた和食献立を提供いたしました。</p> <p style="text-align: center;">実施学校数                    269校                    (県内公立小中学校および特別支援学校)</p> <p>☆ 鯖江市          ・地場産業である越前漆器の給食用食器を優先して使用          ・さばえ菜花米ご飯、特産物のまなべ汁、ちかもんづけ、ミディトマト等、鯖江の特産物を生かした献立</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>☆ 永平寺町          (上志比小・中学校)          ・地場産野菜のカレーライスやキャベツのソテー、らっきょうなど、地場産の農産物を用いた献立          ・地場産野菜の紹介や、地場産100%給食についてチラシも家庭向けに配布しました</p> <p>☆ 越前町          ・えち膳の日(町産食材100%献立)の実施          ・越前町は、越前海岸で獲れる海産物を始め、織田きゅうりやニューピー、宮崎地区のたけのこなど、様々な特産物があり、豆腐に使う大豆も町内産にすることで、学校給食での地場産食材の使用率・使用品目数は県内でもトップクラスを誇っています          ・この取り組みは、給食センターと生産者および県・町が連携し、提供の3か月前に情報交換会を行い、その時期に提供できる農産物の確保や、必要な農産物の生産を依頼したりするなど、生産者と消費者の連絡を密に行うことで成り立っています</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>☆ 永平寺町(志比北小学校)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>☆ 坂井市(長畝小学校)</p>  </div> </div>

# 「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	若狭町
取組の名称	食育の推進と福井梅のPR 青梅まつりで食育・梅育クイズの実施と、美方高校による食育PR・梅ジュースづくり
取組内容	<p>【青梅まつりで食育・梅育クイズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ: 若狭町の特産の梅をPRしながら、食育・梅育クイズで食育を広げよう</li> <li>○ 実施日: 平成29年6月18日(日)</li> <li>○ 場所: JA敦賀美方 梅の里会館</li> <li>○ 主催: 若狭町梅振興連絡協議会</li> <li>○ 参加者: 1,000人程度</li> <li>○ 内容: 若狭町の特産である福井梅を販売・PRすると共に、食育クイズで食育月間を広げるために開催された『青梅まつり』。特産の梅・食育クイズや地産地消による福井梅を使った若狭東高校考案の梅スイーツの販売、また豪華な特産品がゲットできる特産輪投げを行ない、特産品の魅力及び食育月間と食育の日をPRしました。</li> </ul> <p>【美方高校による食育PRと梅ジュースづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ: 若狭町の特産の梅をPRしながら、食育を広げよう</li> <li>○ 実施日: 平成29年6月17日(土)</li> <li>○ 場所: ハピリン2階 福井市観光物産館『福福館』</li> <li>○ 主催・共催: 若狭町総合戦略課・福井市観光物産館『福福館』</li> <li>○ 参加者: 14人</li> <li>○ 内容: 若狭町の特産である福井梅をPRするために、美方高校食物科の生徒が講師となり梅ジュースづくり体験、食育月間のPR活動を行いました。</li> </ul>



**毎年6月は「食育月間」  
毎月19日は「食育の日」**

食育の日って？

食育への関心を高め、健全な食生活を築いていただくため、進学や就職、結婚などの影響が少ない6月が「食育月間」になりました。

そして食育の「育(く)く」という意味が「育」を漢字で表せること、「食(しょく)」も「しょく(しょく)」「く(く)」と同じ、「育」を漢字で表せることから19日が「食育の日」になりました。

日本初の「食育」提唱者

橋本の医師・石塚金次(1851~1909)福井県生まれ、日本で初めて「食育」という言葉を提唱し出版した本の中から...

- ① 病気の予防は食にあり、日本人に適した食事をする事大切
- ② 人には日替わり、だから雑穀を食する動物...
- ③ その土地で採れたものを食べ、旬の産品をしよう...
- ④ なるべく野菜の皮をむかないで、まるごと食べよう...
- ⑤ 料理は、梅のちのち梅のちのちをフランスよく組み合わせて...

「食育」は子育ての土台  
「食育」は「人」を「育」く「育」ます!!  
「食」を通して、心身を健やかに育てていきたいと思います!!

本日のおすすめ!!

～若狭町特産の「紅映(べにさし)梅」を使って梅ジュース作りを～  
昔懐かしいほんのり甘酸っぱい梅ジュースをお楽しみください!!





若狭町食徳 総合戦略課 特産振興室

# 「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名	大野市・坂井市
取組の名称	市の広報誌での食育の啓発
取組内容	<p>食育月間の6月に、市の広報誌において食育を啓発する記事を掲載しました</p> <p>☆大野市 掲載誌 「広報おおの」6月号 記事名 「越前おおの食育推進計画」 【内容】 ・「越前おおの食育推進計画」に掲げた数値目標</p> <p>☆坂井市 掲載誌 「広報さかい」6月号 記事名 「坂井市食育市民ネットワーク通信」 【テーマ】 「食を伝える」～坂井市の「食」を未来につなぐために～ 【内容】 ・食材を伝える(地産地消のすすめ) 食料需給率を高め、食の安全を守るために「地産地消」を勧めよう 生産者のインタビュー「地元で育った野菜を子どもたちに食べてもらいたい」 市内の地産地消の食材を取り扱っている直売所一覧 ・献立を伝える(坂井市型食生活のすすめ) 健康的な食生活を支える「日本型食生活」 「坂井市型食生活レシピ」紹介 ・「もったいない」を伝える(食品ロスについて考える) 合言葉は「もったいない」 活躍するのは冷蔵庫 賞味期限と消費期限の違い</p>



# 「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県	
取組市町村名	小浜市、鯖江市、あわら市、永平寺町、南越前町	
取組の名称	小中学校・保育園における食育の啓発	
実施時期	6月	
取組内容	<p>☆永平寺町(松岡中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育漫画やイラストポスター等を参考に、メディア劇(放送劇)を行いました</li> <li>・今年は「1口30回」と題した劇を行いました</li> <li>・また、「レッツ食育チャレンジ」として食に関する問題を出題し、食について楽しく学ぶ機会を設けました</li> </ul>  <p>☆永平寺町(志比小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年生の保護者を対象とした栄養指導参観と給食試食会を行いました</li> <li>・また、学校開放日には学校保健委員会を開催し、生活リズムを整えることをテーマとした劇を開催しました</li> </ul>  <p>☆鯖江市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・味覚が発達し始めるといわれている小学3年生を対象に味覚の授業を実施しました</li> <li>・外部講師(鯖江市の菓子店経営者)を呼び、菓子を味わいながら甘味、苦味、酸味、塩味等の味から菓子の味ができていることなど、気づきを重点に指導を受けました</li> </ul>  <p>☆あわら市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あわらこども園の保護者を対象に、小学校入学までの目標と一緒に、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを伝えるクラスだよりを発行し、啓発しました。</li> <li>・その結果、「早く寝て早起きをする、朝ごはんを3品食べる」という約束ができ取り組んでいます</li> </ul>  <p>☆南越前町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生の児童および保護者を対象に、「おやつのとりにかた教室」を実施しました</li> <li>・家庭でのおやつの容器を持参してもらい、砂糖の量等を確認し、自分に合ったおやつの食べ方を栄養教諭より説明しました</li> </ul> <p>☆小浜市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学2年生を対象に、魚さばき、調理、魚の食べ方、箸使いを学ぶ授業を行いました</li> <li>・3万個の卵から成魚になれるのはたった1~2匹で、貴重な命を頂いていることを学んでもらいました</li> <li>・1人1匹ずつさばき、煮つけ後は、若狭塗箸で箸使いのマナーを学習してもらいました</li> </ul>	